



さく*からぶね

え*もんち

れにちゃんは よこはまの どうぶつえんにいる インドゾウ
にじゅういちねんまえ このどうぶつえんで うまれました

あそびにきてくれた こどもたちが
おりのそとから てをふいて よびかけてくれます



れにちゃんは
こどもたちが だいすきです

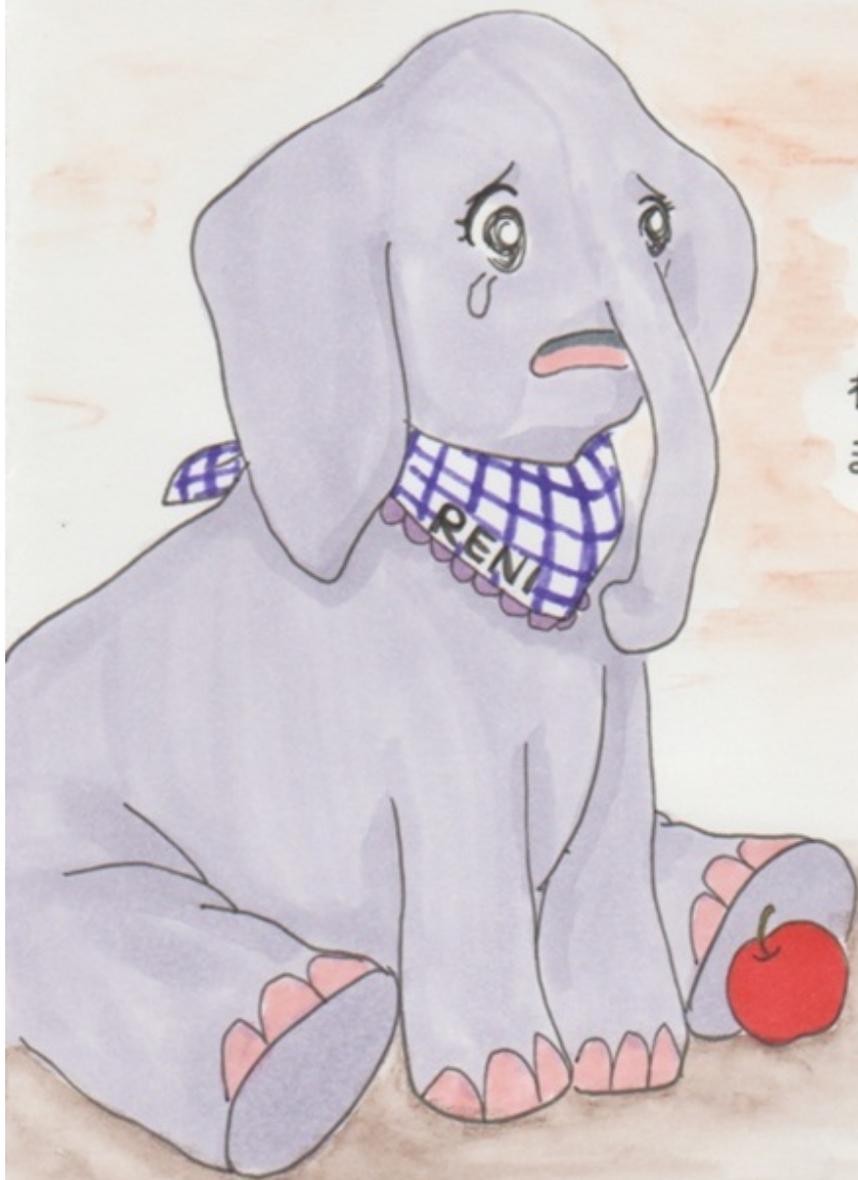


れにちゃんほ どもたちはどうしても おへんじをしたくて
うまれてはじめて こえを だしてみました

はあーん

とても おおきな なきごえで
どもたちは みんな びっくりしました
ぼうしを まぶかにかぶった
ひとりの おんなのこは
こわくなって なきだして しまいました





「どうやって
おれいをいえばいいの？」

わたしが ないたら
また みんなを びっくりさせちゃう」

れにちゃん は
どうぶつえんの なかまたちに
なやみをきいて もらうため
こっそり おりを ぬけだします



よるのどうぶつえんは とてもしずかでした



「あれ れにちゃんだ」もぐもぐ」

「あ しろちゃん こんばんは」

トラの しろちゃんは
いつも おにくを たべています

こんなよなかに どうしたの？

なんか なやんでる？

もぐもぐ

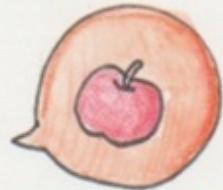
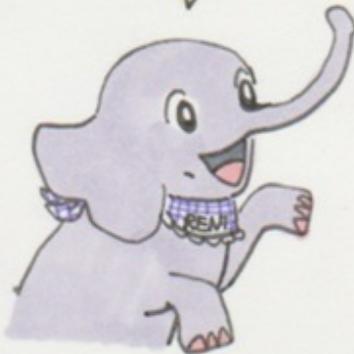
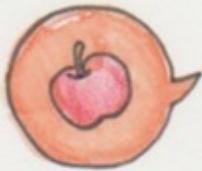


れにちゃんは しろちゃんに
おひるまの こどもたちとのことを はなしました



「れにちゃんの
たべているものを
あげれば"いいんじゃない?"」

「れにちゃんがおいしいと
おもうものはきっとおいしいと
おもうよ!」



「わたしは どれも きらいだな...」
「だったら 子どもたちも おいしくたべてくれるとはかぎりがないじゃん」
「そっか そうだね」



「しおりちゃん ほかのどうぶつにも
きいてみるよ」

「ごめんね れにちゃん
めいあんだとおもったんだけど」



れにちゃんは しおりちゃんのいる おりをはなれました

「あれ れにちゃん こんばんは」

いけのなかから ながいくびのフラミンゴが
はなしかけてきました



「こんばんは あやかちゃん」



「こんなよなかにどうしたの？」



れにちゃんは あやかちゃんに
おひるまの こともちとのかを はなしました

「れにちゃん げいはできないの？
まえあしだけでさかたちするとか

わたしみたいに
うしろあしっぽんで
たつとか」



「にんげんのことは」を しべれない わたしたちが
げいをすれば」 どもたちは よろこんで ✨くれるんじゃないかな？」

「げいをしなきゃ
いけないの？」

「わたしはさかたちも いっぽんあしで たつことも できないもん
それで よろこんでくれるとは おもえないよ」

「そ、か そうだね ごめんね」

「あやかちゃん
ほかのどうぶつにも きいてみる」

「れにちゃんあんまりなやむと
びようによくないよ」

れにちゃんは あやかちゃんのいる いけをはなれました



れにちゃんは おおきな いわやまに やってきました

「あれ？ どうがいる」

いっぴきの ニホンザル が ぶい わつと めの まえに とびだして きました

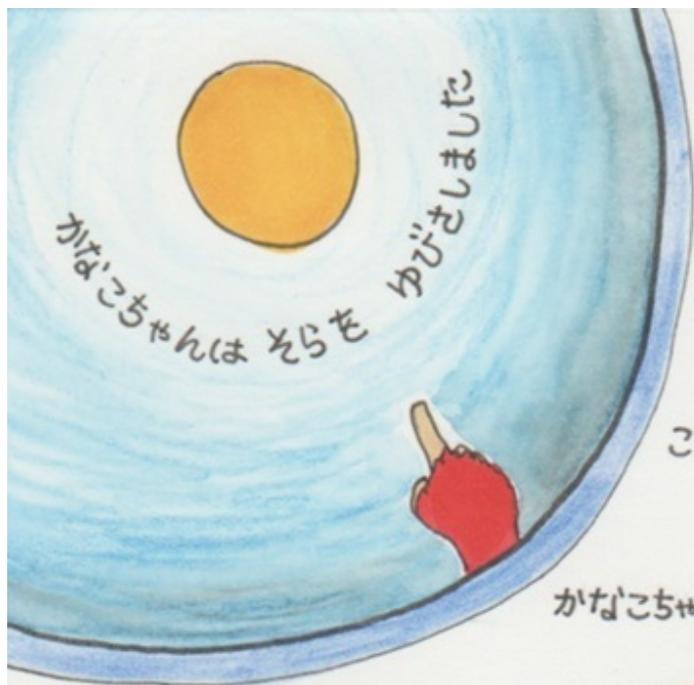
「かなこちゃん こんにちは」

「ひさしぶり！ なんで こんな じかん に
さんぽ してんの？」



れにちゃんは かなこちゃんに
おひるまの こどもたちとのことを はなしました





あのよき日にうかぶ おつきさまを
プレゼント すれば いいんだよ!
こんなにきれいな おつきさまを
ほしくならない ひとなんていないよ!

こどもたちもぜったいよろこんでくれるよ!

かなこちゃんはおびんぴんととびはねています



「どうやっておつきさまをつかまえるの?」

「ジャンプしてつかまえるんだよ!」

「あんなにかいところにいる
おつきさまなんて とどかないよ
ぜったいむりだよ」

かなこちゃんから えがあがきました





かなこちゃんは
ちかくにあった きに
よじのぼりました



「わたしが おっきさまとってくるもん！」

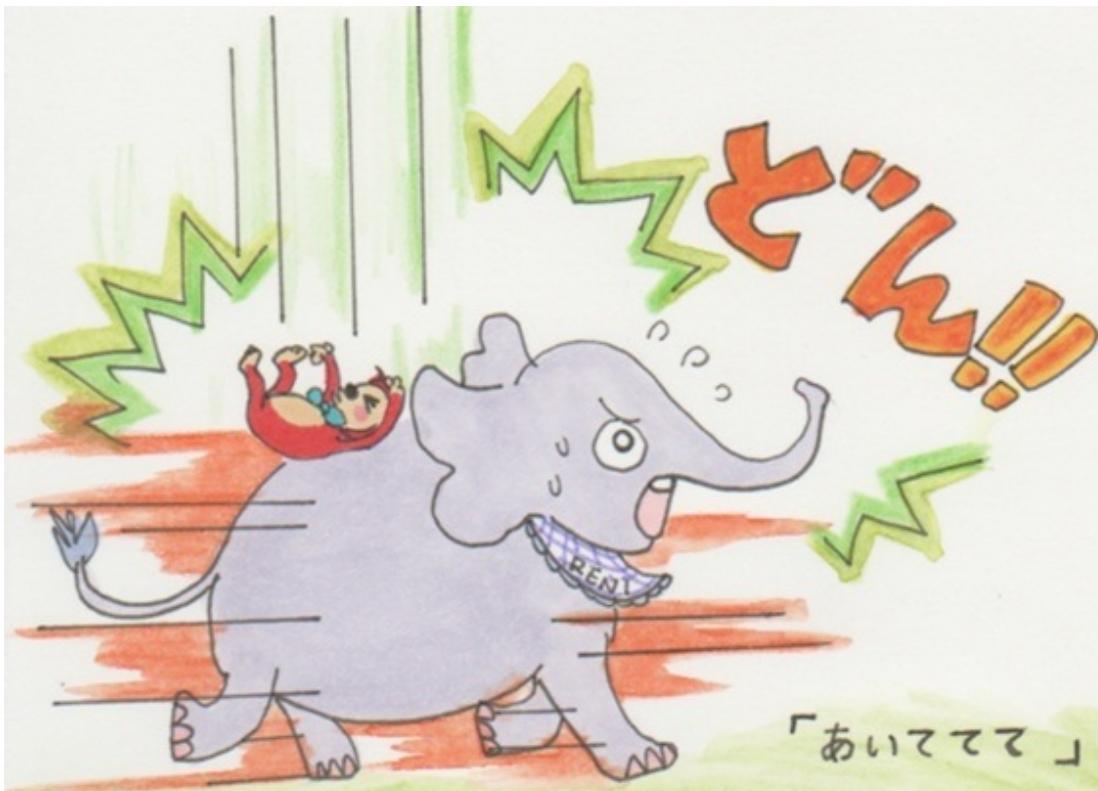
「あぶない！」



かなこちゃんは きのてっぺんから
おっきさまにむかって ジャンプしました

きれいな こを えがいた えびぞりジャンプせず
そねがとてもうつくしくて
ねにちゃんは かなこちゃんがしたに
おちてくることを
わすれそうになりました





「あいててて」

あちてくるばしょにあわててれにちゃんか
はしりこんできてくれたのぞした
れにちゃんはあたまがぐるぐるまわっています

「けがない？ だいじょうぶ？」

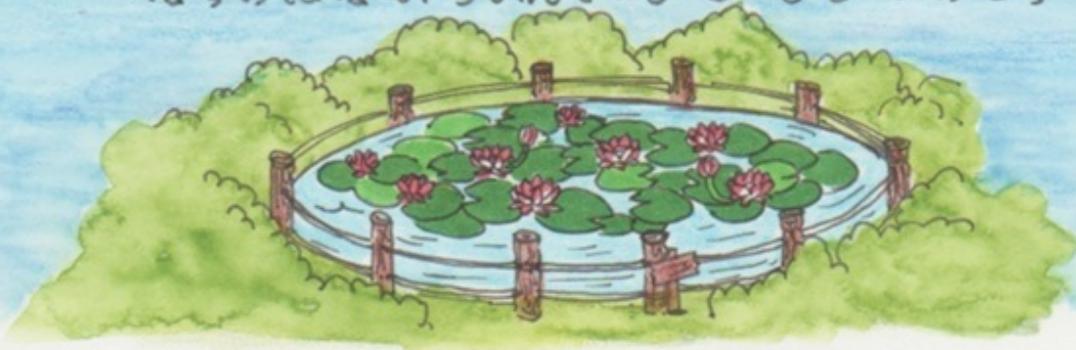
れにちゃんのせなかのうえぞかなこちゃんはすっかりしょげていました

「れにちゃんごめんね
おつきさまとってこれなかった」

「ううんわたしがあんな
そろげんしたからだよ
ごめんね」

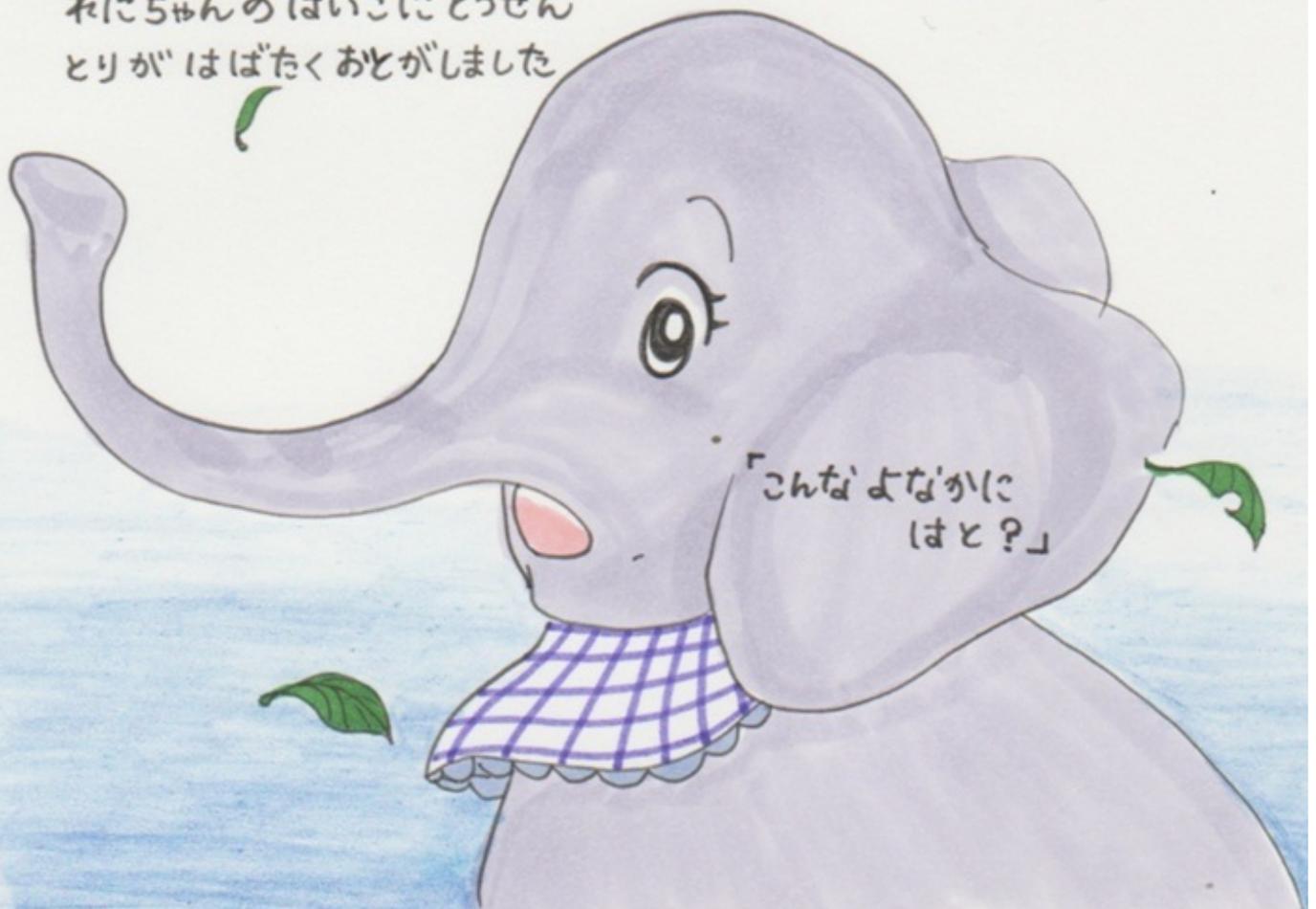


しょんぼりしたねにちゃんがさいごにさしかかったのは
はすのはながうかんでのいる ちいさな いけです



バサバサツ

ねにちゃんのはいごにとつぜん
とりがはばたくおとがしました



「こなたよなかに
はと？」

「は はと?!」

いけのうえで'はしゅはしゅ'はねる おとが'しました
いっぴきの ちいさな' カエルです

「あ ももかちゃん」

「なんだ' れにちゃんか' こんな' よな' かに' どうしたの?」



ももかちゃんに' そうき' かれた' れに' ちゃん' は' め' を' そ' ら' して' しま' います



ももかちゃんはまぐらなよぎらをみあげて
 おおきなめを はちぱちさせています
 「もうすぐ あめが ふるね」

おおきく しんこきゅうすると
 いきおいよく クロケロと なきはじめます
 そうすると いけにいる カエルのなかまたちも
 つられて いっせいに なきはじめます

「すごーい! ぞも どうして カエルは なくの?

「ふかく かんがえたこと なかったな

ねにちゃんは かんがえるの?」

「なまこえに びっくりされちゃうかもしれないじゃん」

「どうして?

なきたいときに なけばいいと
 おもうよ」



「なきたい ときになく」

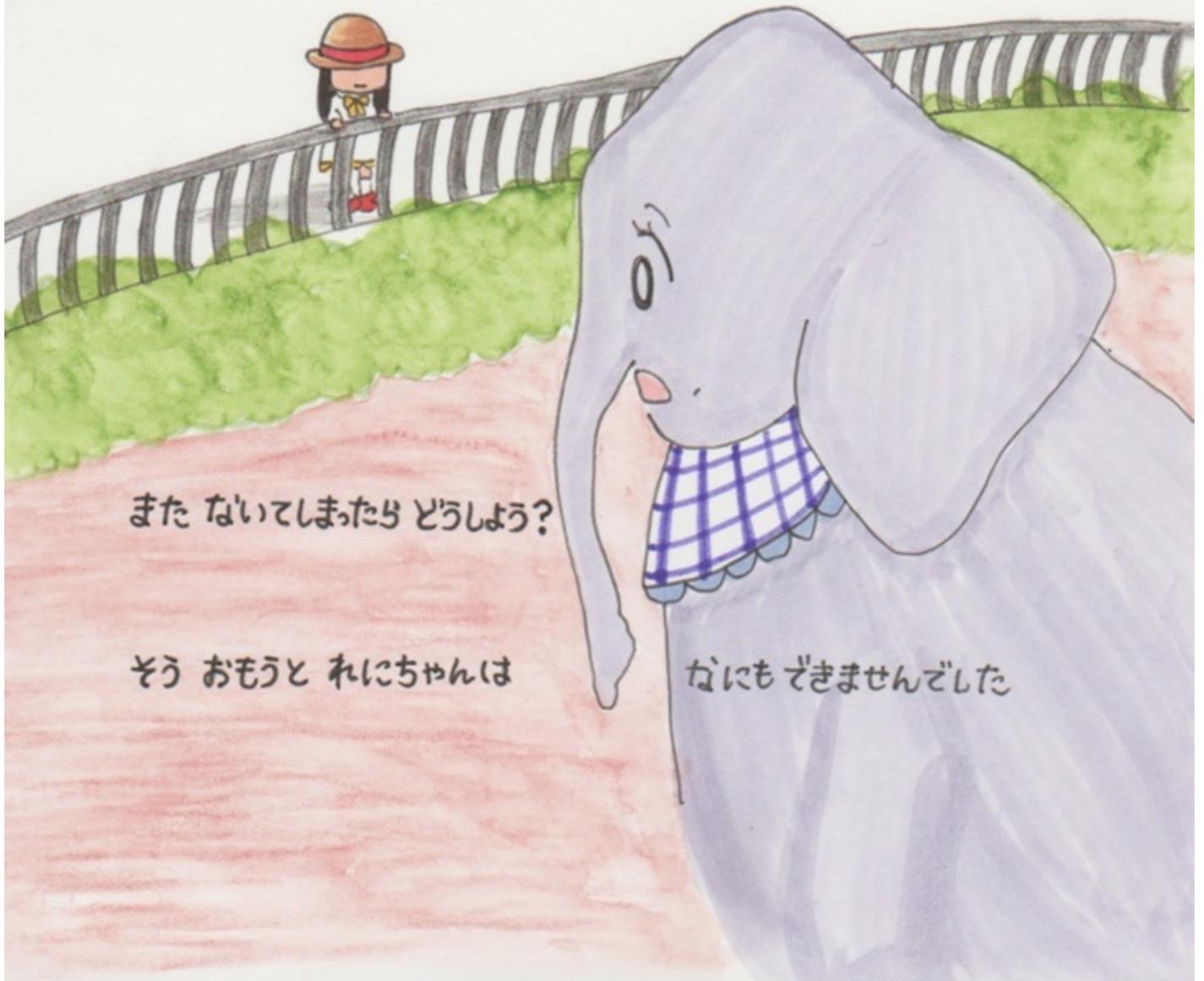


そのことばが れにちゃんの
あたまのなかで ぐるんぐるん
まわりはじめました

つぎのひ

いつものように れにちゃんが おりのところに ぞうくと
ひとりの おんなのこが ぽつんと おりのまえて
たっているのに きづきました

れにちゃんは はっきり おぼえています
まぶかにかぶったぼうし
きのう なかせてしまった おんなのこです



また ないてしまったり どうしよう?

そう おもうと れにちゃんは

なにもできませんでした



おんなのこは なにかを
いいたそうにしているのですが
((())) いいだせずに いるようです
れにちゃんはずっとそれを みつめています

「わ わたし」

れにちゃんのみみがぴくんと おきあがります

「れにちゃんのこと

だいすきだよ」



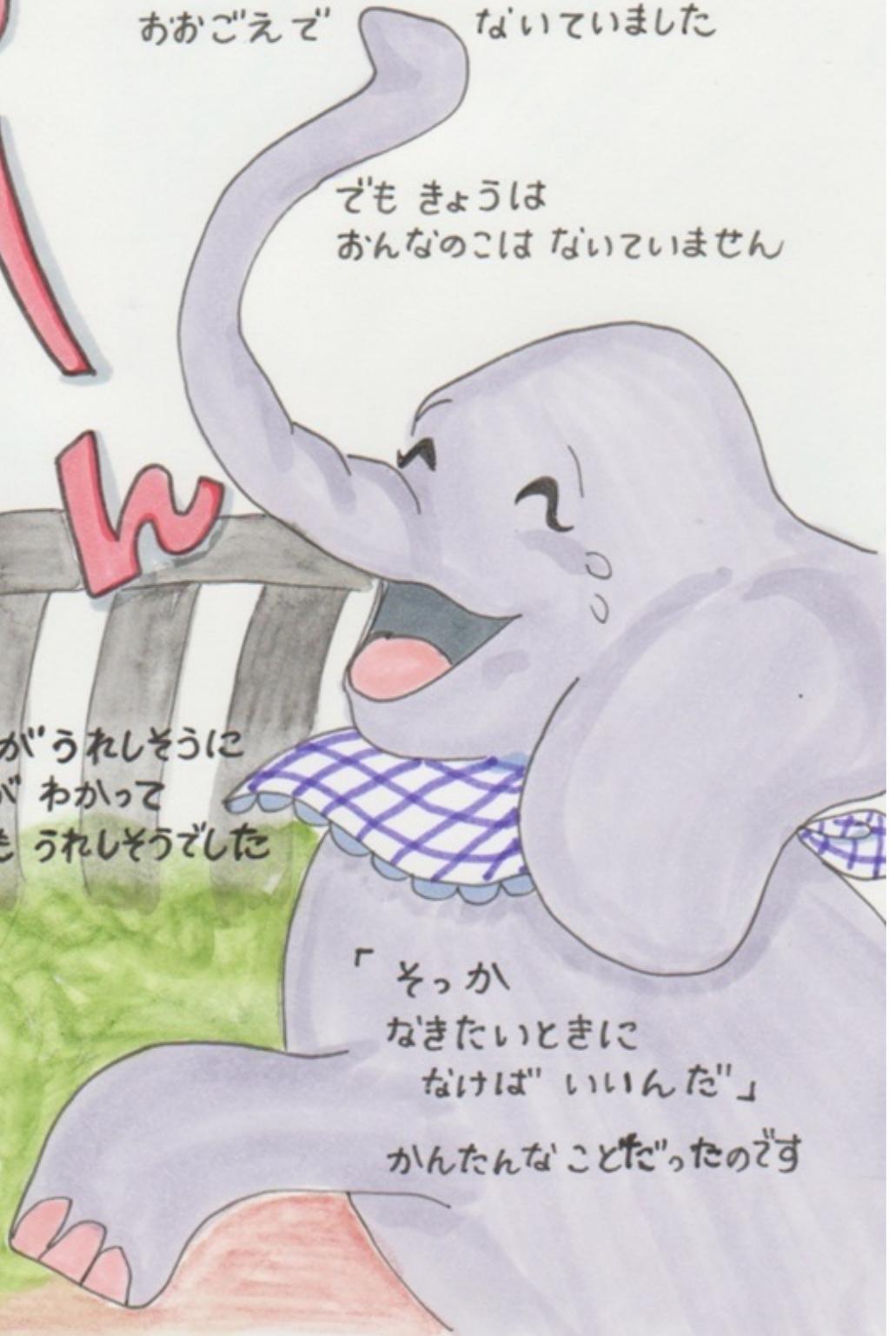
ぽ
お

きがつけば"れにちゃんは
うれしくて うれしくて
おおごえで ないていました

でも きょうは
おんなのこは ないていません

れにちゃんが"うれしそうに
しているのが わかって
おんなのこも うれしそうでした

「そっか
なきたいときに
なけば"いいんだ"」
かんたんなことだ"ったのです





ぱ
お



ん



れにちゅんの なまご"えが"
どうぶ"つえんじ"ゆうに ひび"きます



そして あの おんなのこにも
「まゆこ! はやくいくわよ」
「はあい」



しば⁰あ

ん



きょうは いいおてんきになりそうです

おしまい

